

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	科学技術日本語 I
科目基礎情報						
科目番号	0005		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	一般教育科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	留学生・技術研修生のための使える日本語・数学・化学の教科書、ワーク等、他配布プリント					
担当教員	兵藤 桃香					
到達目標						
この科目は長岡高専の教育目標の (B) と主体的に関わる。この科目の到達目標と成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連性を以下の表に示す。 1) 理数系科目の必須用語の習得。50% (b2) 2) 理数系科目特有の用語を正しく読め理解し問題を解くことができる。50% (b2)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
理数系科目の必須用語の習得	既習用語を概ね習得し運用できている		既習用語を概ね習得できている		左記に達していない。	
理数系科目特有の用語を正しく理解し運用することができる	既習用語を使用語彙としている		既習用語を理解語彙としている		左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この科目では、理工学系の科目に対応する基礎部分の育成を目指す。2学年になった際に、より高度な専門日本語への橋渡しが可能となることを目的とする。					
授業の進め方・方法	『留学生・技術研修生のための使える日本語』と数学・化学の教科書をベースにし、範囲に対応しているドリルを用いて理数系科目の基礎用語を幅広く学んでいく。主には、用語の確認、使用例など実践に近づけイメージしながら進めていく。 また、最低限必要となる理工学に特化した漢字も同時に学習する。 ※内容は学生の能力に応じ適宜変動の可能性あり					
注意点	1. 遅刻・無断欠席及び飲食厳禁（何らかの手段で連絡をすること） 2. 予習をしておくこと 3. 宿題を提出すること 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス説明 数の読み方			
		2週	式の読み方			
		3週	割合を表す表現 曖昧な表現			
		4週	図形① 平面図形の名前			
		5週	図形② 空間・立体図形の名前			
		6週	図形に関する表現 中間試験範囲復習			
		7週	前期中間試験			
		8週	単位			
	2ndQ	9週	位置を表す表現			
		10週	手を動かす基本動作			
		11週	ものを動かす基本動作①			
		12週	ものを動かす基本動作②			
		13週	ものの形を変える基本動作①			
		14週	ものの形を変える基本動作②			
		15週	前期末試験			
		16週	試験解説と発展授業			
後期	3rdQ	1週	前期内容の総まとめ 道具や手を使う動作①			
		2週	道具や手を使う動作②			
		3週	水を使う動作			
		4週	火を使う動作			
		5週	電気を使う動作			
		6週	物質の三態と材質 試験範囲復習			
		7週	後期中間試験			

		8週	目で見た性質・状態① 色	
	4thQ	9週	目で見た性質・状態②	
		10週	目で見た性質・状態③	
		11週	目で見た性質・状態④ 擬態語	
		12週	手で触った性質・状態①	
		13週	手で触った性質・状態② 擬態語	
		14週	耳で聞いた性質・状態・擬音語 変化を表す表現	
		15週	後期末試験	
		16週	試験解説と発展授業 1年間の総復習	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	前期中間試験	前期末試験	後期中間試験	後期末試験	小テスト	課題	出欠席	合計
総合評価割合	15	15	15	15	15	15	10	100
基礎的能力	15	15	15	15	15	15	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0